

秋田県立大学大学院 システム科学技術研究科
博士前期課程 共同サステナブル工学専攻

学生募集要項

令和4年4月入学者選抜（令和3年10月実施試験・令和4年3月実施試験）

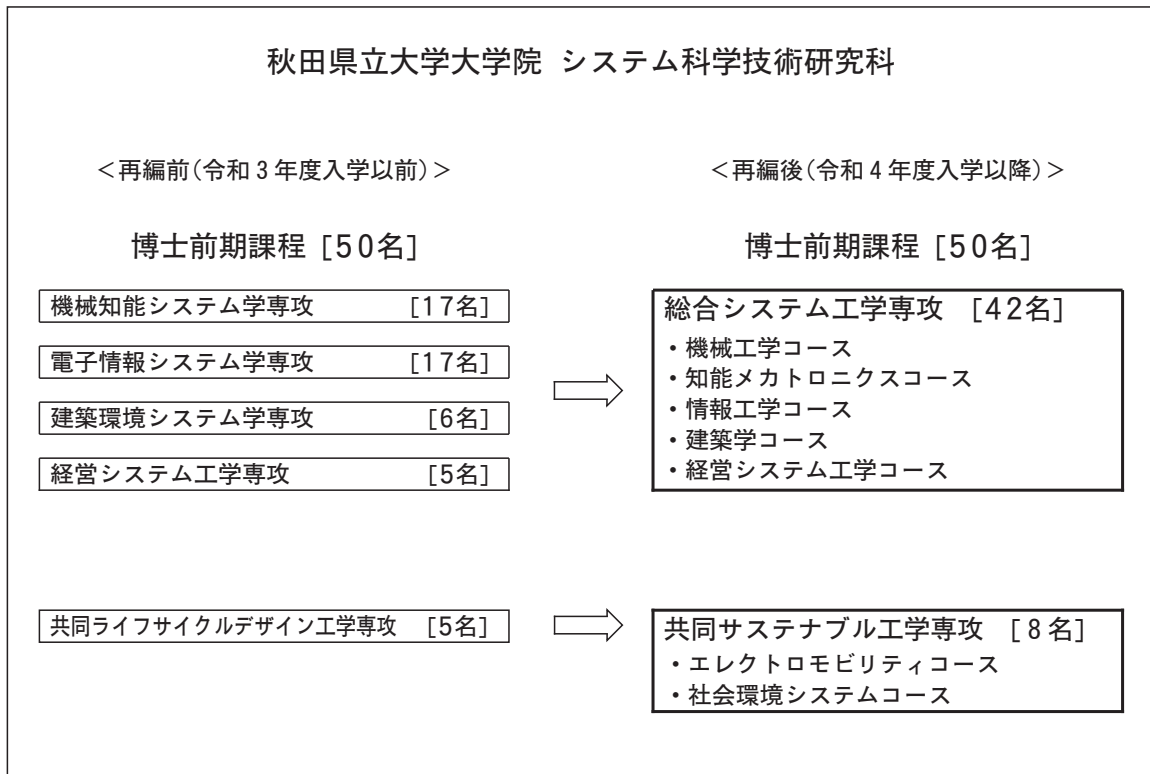
新型コロナウイルス感染症等の影響で、試験日程や試験方法が変更となる可能性があります。変更となる場合は、本学ホームページでお知らせします。

令和3年8月



秋田県立大学大学院システム科学技術研究科の再編について

システム科学技術研究科では、令和4年4月に、既設の機械知能システム学専攻、電子情報システム学専攻、建築環境システム学専攻及び経営システム工学専攻の4専攻を融合型の1専攻に再編した「総合システム工学専攻」と、既設の共同ライフサイクルデザイン工学専攻を改組した「共同サステナブル工学専攻」を設置します。



共同サステナブル工学専攻について

1. 共同大学院とは

二以上の大学院の連携協力による教育・研究・地域貢献機能の充実・強化を一層促進することなどを目的に、国公立大学を通じ、相互に教育研究資源を有効に活用しつつ、共同で教育課程を編成する仕組みを利用した大学院です。

2. 共同サステナブル工学専攻の概要

共同サステナブル工学専攻は、秋田県立大学と秋田大学の共同大学院として設置するものです。本専攻では、輸送・機械システム、要素技術、環境配慮設計、再生可能エネルギーに関する専門科目に加え、多様な工学分野の専門科目やプロジェクト実習を履修することで、サステナブル工学における「動力システムの電動化」、「環境配慮設計」、「再生可能エネルギー利用」に関する高度な知識・技術と、広範な工学分野の知識・技術を修得した、環境負荷低減と我が国および地域の産業振興に寄与貢献できる人材を養成します。

3. 共同サステナブル工学専攻の主な特徴

- (1) 秋田県立大学と秋田大学の連名による学位が授与されます。
- (2) 秋田県立大学と秋田大学の両方の大学院に在籍することになりますが、主として研究指導を担当する専任教員（主指導教員）が在籍する大学院に本籍を置くことになります。
- (3) 両方の大学院に在籍することになるため、両方の大学の施設等を利用することが可能です。
(一部、各大学の事情により利用できない施設等がある場合があります。)
- (4) 秋田県立大学の大学院に本籍を置いた場合、秋田大学の教員からも研究指導が受けられる体制となります。
- (5) 秋田県立大学と秋田大学の両方の大学院で開講する講義を受講することになります。

秋田県立大学大学院システム科学技術研究科 博士前期課程
共同サステナブル工学専攻

◎令和4年度入学者選抜試験

入学定員・募集人員・入学試験関係日程

共同サステナブル工学専攻【入学定員8名】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・エレクトロモビリティコース ・社会環境システムコース 	
	令和3年10月 実施試験	令和4年3月 実施試験
選 抜 区 分	推 薦 特 別 選 抜 一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜	一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜 学 部 3 年 次 学 生 を 対 象 と す る 特 別 選 抜
募 集 人 員	8名程度	若干名
入 学 資 格 審 査 申 請 期 間	令和3年8月16日(月) ～8月20日(金) 午後5時必着	令和3年11月29日(月) ～12月3日(金) 午後5時必着
出 願 期 間	令和3年9月13日(月) ～9月17日(金) 午後5時必着	令和4年1月31日(月) ～2月4日(金) 午後5時必着
試 験 期 日	令和3年10月23日(土)	令和4年3月2日(水)
合 格 者 発 表	令和3年11月1日(月) 午後1時予定	令和4年3月7日(月) 午後1時予定
入 学 手 続 期 限	令和3年11月9日(火) 午後5時必着	令和4年3月15日(火) 午後5時必着

目 次

※「推薦特別選抜」を受験希望の方はⅡ（P.4～）を、「一般選抜」、「社会人特別選抜」、「外国人・帰国子女特別選抜」及び「学部3年次学生を対象とする特別選抜」を受験希望の方はⅢ（P.9～）をご覧ください。

I システム科学技術研究科について	1
(1) 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
(2) 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	1
(3) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	2
Ⅱ 共同サステナブル工学専攻（推薦特別選抜）	4
1 募集する専攻及び募集人員	4
2 出願資格	4
3 障害等のある入学志願者の事前相談について	5
4 出願期間及び出願方法等	5
5 選抜方法等	8
6 合格者発表	8
Ⅲ 共同サステナブル工学専攻	9
（一般選抜、社会人特別選抜、外国人・帰国子女特別選抜、学部3年次学生を対象とする特別選抜）	
1 募集する専攻及び募集人員	9
2 出願資格	9
3 障害等のある入学志願者の事前相談について	12
4 出願期間及び出願方法等	12
5 選抜方法等	16
6 合格者発表	20
Ⅳ 共通事項	21
1 入学手続、初年度納付金等	21
2 入学試験成績の開示	22
3 個人情報の取扱いについて	22
キャンパス案内	23
秋田県立大学大学院システム科学技術研究科の案内	24
令和3年度中に行う入学者選抜における新型コロナウイルス感染症に関する方針	25

I システム科学技術研究科について

(1) 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

博士前期課程

学部教育を基礎として、システム思考に更に高度で先端的な厚みを持たせ、分野横断的な能力を養うことにより、グローバルに発展的な未来を切り開くことを目指す人材を受け入れる。

上記に加え、次のような資質を持つ人を求めている。

★総合システム工学専攻

- 工学に関する基礎・専門知識と一定の研究能力を有し、自らの専門となる分野のより高度な専門知識とそれに関連する分野について学ぶことにより、システム思考を活用できる能力を有する技術者あるいは研究者を目指す人
- 高い倫理観と責任感を有し、工学的観点から企業や地域社会の課題を発見し、解決できる能力を身に付けることを目指す人
- グローバルに活躍できるプロジェクト推進に必要な協働力やコミュニケーション能力を身に付けることを目指す人

★共同サステナブル工学専攻

- 工学分野の基礎を有し、複数の工学分野の専門知識を統合することにより持続可能な社会の実現を目指す人
- 輸送機械の電動化や再生可能エネルギーの利活用、資源循環に関する研究に取り組むことで地域産業の活性化に貢献する意欲のある人
- 世界規模での問題意識を持ち、国際的視野で課題解決に取り組む意欲のある人

博士後期課程

複数の分野を統合する広い視野と明確な問題意識を持ち、高度技術研究者を目指す人材を受け入れる。上記に加え、次のような資質を持つ人を求めている。

★総合システム科学専攻

- 前期課程での研究実績とともに、複数の分野を統合する高い立場から広い視野で物事を分析する能力と、問題解決に向けた明確な目標を有する人

(2) 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

目的とする人材養成のため、博士前期・後期の教育課程を以下のとおりとする。

博士前期課程

工学を基礎とする高度専門職業人として必要な専門知識・技術から文化、倫理まで、社会で活躍するために求められる知識を多面的に学べるカリキュラム構成とする。コースごとに教員の専門性を活かした先端的知識を学ぶ科目を開講する。また、分野横断的な能力を身に付けることを目的としてコース共通科目を設けるとともに、他コースの専門科目を履修できるカリキュラムを編成する。

専攻では、次のような人材育成のための特色ある科目を開講する。

★総合システム工学専攻

- ・工学を基礎とする高度専門職業人として、社会の持続的発展に貢献できる高度な専門知識・技術を身に付けるための科目を設ける。
- ・それぞれの専門分野の社会あるいは産業界における意義や位置付けを知り実践的な経験を積むための科目を配置し、実践能力を養成するための科目を設ける。
- ・実社会における課題の発見、分析、解決に向けた実践的能力養成のためのPBL科目を設ける。
- ・プロジェクト推進に必要な協働力やコミュニケーション能力を養成するための科目を設ける。
- ・グローバルに活躍するために必要な実践的英語能力を養うための外国語科目や英語で行われる科目を開講するほか、広い視野で社会の持続的発展に貢献できる能力を養成する科目を設ける。
- ・高い倫理観をもち、社会に信頼される研究者・技術者を育成するため、専門科目の講義やインターンシップを含む幅広い視点から技術者倫理を身に付けるカリキュラム編成とする。

★共同サステナブル工学専攻

- ・輸送・機械システム、要素技術、環境配慮設計、再生可能エネルギーに関する専門科目や、多様な工学分野の専門科目を履修することで、サステナブル工学における「動力システムの電動化」あるいは「環境配慮設計」・「再生可能エネルギー利用」に関する高度な専門知識・技術と、広範な工学分野の知識・技術を修得し、システム思考（種々の分野の専門技術を統合し、合理的調和を図る考え方）を涵養できる。
- ・秋田県内企業、電動化システム共同研究センター等と連携して実施されるプロジェクト演習、経営工学系専門科目を履修することにより実践的なプロジェクト推進能力など地域の産業振興に必要な能力を修得できる。
- ・共通科目の外国語等科目や倫理等科目を履修することで、十分な実践的英語能力と技術者倫理を修得できる。

博士後期課程

開発技術の実践に直接役立つ授業科目を設ける。また、博士前期課程の教育科目における各専攻の領域を超えて融合し、機構・デバイス系、情報・知能系、社会・環境系の各分野で再構築した講義を展開する。

専攻では、次のような人材育成のための特色ある科目を開講する。

★総合システム科学専攻

- ・「共通基盤科目」では、開発技術の実践に直接役立つ授業科目を設ける。また、「学際専門科目」では、博士前期課程の教育科目における各専攻の領域を超えて融合し、機構・デバイス系、情報・知能系、社会・環境系の各分野で再構築した講義を展開する。

(3) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学では、下記の能力を身に付けた学生に学位を授与する。

博士前期課程

学部教育を基礎として専門知識と研究開発能力を育み、システム思考に更に高度で先端的な厚みと広がりを持たせることにより、グローバルに発展的な未来を切り開く高度専門職業人としての分野横断的な知識・能力及び高い倫理観と責任感を身に付け、修了に必要な単位を修得した学生に学位を授与する。

専攻を通じ、修得すべき能力は以下のとおりである。

★総合システム工学専攻

- 工学に関する高度な専門知識を有し、安全・安心・健康・快適で持続可能な地域社会の発展に貢献できる能力
- 地域の社会基盤を支え、その高度化に貢献できる研究開発力
- 科学的解析力と戦略的思考力、企画力や統合力を備え、企業や地域社会の課題を発見し解決できる能力
- 様々な分野の専門家と協働して、コミュニケーションを取りながらプロジェクトを推進できる能力
- 実践的英語能力を備えグローバルに活躍できる能力
- 倫理規範を遵守し、社会から信頼される研究を遂行できる能力

★共同サステナブル工学専攻

- 環境配慮設計と再生可能エネルギー利用あるいは動力システムの電動化に関する高度な専門知識と技術
- 未知の課題に対して機械・電気・材料・情報・環境・化学などの多様な工学分野の要素技術を統合して活用するシステム思考
- 地域産業の振興に必要とされる実践力、マネジメント能力、協働力、発想力、リーダーシップ、起業力、地域経済・産業の知識
- グローバル化社会で活躍するのに十分な実践的英語能力
- 社会から信頼される研究者に相応しい倫理観

博士後期課程

高度技術研究者として、前期課程の基礎に立って研究開発能力を高め、複数の分野を俯瞰して広い視野で物事を分析し、問題の提起と解決を行う能力を身に付け、修了に必要な単位を修得した学生に学位を授与する。専攻を通じ、修得すべき能力は以下のとおりである。

★総合システム科学専攻

- 新しい要素技術の開発と広い視野から異なる技術分野を統合した新しい技術分野の開拓に貢献し、極めて広い分野に関わる大きな問題に対して指導的な立場から問題解決に貢献できる能力

II 共同サステナブル工学専攻（推薦特別選抜）

1 募集する専攻及び募集人員

入学定員及び 選抜区分 専攻名	入学 定員	募 集 人 員	
		令和3年10月 実施試験	令和4年3月 実施試験
		推 薦 特 別 選 抜 一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜	一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜 学 部 3 年 次 学 生 を 対 象 と す る 特 別 選 抜
共同サステナブル工学専攻 ・エレクトロモビリティコース ・社会環境システムコース	8	8名程度	若干名
計	8		

2 出願資格

(1) 出願資格

学業及び人物共に優れ、所属する大学の学長又は学部長、高等専門学校の学校長等が責任をもって推薦でき、かつ合格をした場合には入学を確約できる者で、以下の出願資格①～⑧のいずれかに該当する者が出願できます。

- ① 大学を卒業した者及び令和4年3月までに卒業見込みの者
- ② 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者〔旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校を卒業した者等〕
- ⑧ その他大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、令和4年4月1日までに22歳に達する者

(2) 入学資格審査

① 出願資格⑧により出願を希望する者については、入学資格審査を行います。入学資格審査を受けるにあたっては、次の期間内に申請が必要となりますので、下記ii)の各書類を後記「出願先」まで郵送してください。入学資格審査申請期間最終日の午後5時必着とし、「入学資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。

i) 入学資格審査申請期間

令和3年8月16日(月)～8月20日(金)

ii) 入学資格審査に必要な書類

書類名	摘要
入学資格審査申請書	様式は本学ホームページからダウンロードし、必要事項を記入してください。
履歴書	様式は任意です。
研究業績書	様式は任意とし、論文要旨、論文発表業績又は研究業績のいずれかを提出してください。
返送用封筒(入学資格審査結果送付用)	長形3号の封筒に、郵便番号、住所及び氏名を明記し、84円切手を貼付してください。

② 入学資格審査の結果は、令和3年9月6日(月)までに本人あてに通知します。

3 障害等のある入学志願者の事前相談について

本大学院に入学を志願する者で、障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)や疾病・負傷等により、受験上及び修学上において特別の配慮を希望する場合は、以下の期限までに後記「出願先」へ事前相談を行うようにしてください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者に連絡をとることもあります。また、希望する配慮を必ずしも実施できるとは限りません。期限後に不慮の事故等により、受験上の配慮が必要となった場合には、速やかに連絡してください。

事前相談期限	令和3年8月20日(金)
--------	--------------

4 出願期間及び出願方法等

(1) 出願期間

令和3年9月13日(月)～9月17日(金)

(2) 出願方法

- ① 本選抜はインターネット出願となります。本学ホームページからインターネット出願ページに進み、出願手続を行ってください。
- ② 本選抜には郵送もしくは持参による提出が必要な書類があり、その提出までが出願手続となります。書類の提出は出願期間最終日の午後5時必着とします。なお、持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとします。
- ③ 指導教員等が変更になる場合がありますので、出願前に必ず志望指導教員と連絡をとるようにしてください。

(3) 入学検定料

30,000円

インターネット出願ページの指示に従い、出願期間内に納付してください。

(4) 出願先

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

秋田県立大学 アドミッションチーム

T E L 0184-27-2100 F A X 0184-27-2180

(5) 出願書類

次の書類を原則としてすべて提出してください。※印の書類は該当者のみ提出してください。

番 号	書 類 名	摘 要
1	入学志願票	インターネット出願ページから入学志願票を印刷して送付してください。
2	志望理由書	本大学院所定の用紙に志望理由を記入し提出してください。
3	業績レポート ※	出願資格⑧に該当する者は本大学院所定の用紙に業績を記入してください。
4	推薦書	本大学院所定の用紙に、出身又は在籍している大学の学長又は学部長、高等専門学校長等が記入したものを提出してください。
5	卒業（見込）証明書又は学位授与（申請受理）証明書	① 出身大学の学長等、又は大学改革支援・学位授与機構が発行する証明書を提出してください。 ② 大学改革支援・学位授与機構に学位授与申請中の場合は、同機構が交付する学位授与申請受理証明書を提出してください。
6	成績証明書	出身大学の学長等が発行する成績証明書を厳封して提出してください。
7	住民票又はパスポートの写し ※	日本に住所を有する外国籍の者は、住民票（出願前3か月以内に発行したもの）を提出してください。受験のために来日する外国籍の者は、パスポートの写しを提出してください。
8	日本語能力に関する証明書 ※ 注) システム科学技術研究科の授業は、原則として日本語で行われます。	日本国籍を有しない者は、日本国際教育支援協会の実施する日本語能力試験の「認定書の写し」又は「認定結果及び成績に関する証明書」若しくは国内外における日本語教室の修了証・成績証等を提出してください。
9	受験承諾書 ※	企業等に在籍のまま本大学院に入学する希望のある者は、企業等の所属長が作成した受験承諾書を提出してください（様式は任意とします）。

(次のページへ続く)

番 号	書 類 名	摘 要
10	受験許可書 ※	他の大学院に在学中の者は、当該大学院が発行した受験許可書を提出してください（様式は任意とします）。
11	安全保障輸出管理に関する誓約書 ※	外国籍の方、または、日本国籍を有するが非居住者に該当する方は、本学ホームページに掲載の「安全保障輸出管理に関する誓約書」の内容を確認のうえ、必要事項を記入・押印、またはサインをし、提出してください。 URL: https://www.akita-pu.ac.jp/nyushi/joho/joho-daigakuin/
12	その他本学が指定する書類 ※	入学資格審査の結果、必要と認められる書類について連絡があった場合提出してください。

【注】各種証明書等の中で提出が困難な書類の取扱いについては、前記「出願先」までお問い合わせください。

(6) 出願上の注意事項

- ① 出願にあたっては、24ページの「秋田県立大学大学院システム科学技術研究科の案内」を参照の上、必ず志望研究分野の指導教員にお問い合わせください。問い合わせの際は、前記「出願先」に連絡してください。

ア 希望する主指導教員との連絡について

出願（入学資格審査申請を含む）にあたっては、希望する主指導教員へ事前に連絡し、研究内容の確認を必ず行ってください。また、合格した場合は、希望する主指導教員へ連絡し、今後の研究計画等の打合せを必ず行ってください。

イ 出願大学、受験大学、本籍を置く大学について

秋田県立大学に所属する専任教員を主指導教員に希望する場合は、秋田県立大学へ出願し、秋田県立大学において入学者選抜試験を受験することとなります。

この場合、入学後に本籍を置く大学は「秋田県立大学」となり、授業料等の納付、奨学金の申請等に関して、秋田県立大学の学生として取り扱います。また、秋田県立大学と秋田大学を併願することはできません。

- ② 出願書類に、次のような不備のあるものは受理しないことがあるので、十分確認してください。不備のある出願書類は、出願期間経過後に返送します。

ア 出願書類がそろっていないもの

イ 記入漏れ、誤記のあるもの

- ③ 出願書類は、インターネット出願ページの注意事項を参照してください。

- ④ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号及びメールアドレス等に変更があった場合は、前記「出願先」まで連絡してください。

- ⑤ 受験票は、出願書類受理後にインターネット出願ページからダウンロードできるようになりますので、印刷してください。

- ⑥ 外国から本学大学院受験のために来日する者は、日本国への入国に必要な書類の発給に時間を要する場合がありますので、発給元に所要時間、必要書類を確認するなど受験に間に合うように十分注意してください。

- ⑦ 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「秋田県立大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受け入れに際し厳格な審査を行っています。規制事項に該当する場合は、希望する教育や研究が受けられない場合がありますので、注意してください。

- ⑧ 一度受理した出願書類は返却しません。

(7) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額 ※
(ア) 入学検定料を納付したが、出願しなかった場合	30,000円
(イ) 入学検定料を誤って二重に納付した場合	30,000円

※実際の返還額は振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、次の送付先へ請求してください。

送付先：〒015-0055

秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

秋田県立大学 アドミッションチーム

送付期限：令和4年2月25日（金）必着

注）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

5 選抜方法等

- (1) 試験期日 令和3年10月23日（土）
- (2) 選抜方法 書類審査、面接を総合して行います。

書類審査	面 接	合 計
300	400	700

- (3) 試験時間割 面 接 午後1時～
- (4) 試験会場 本荘キャンパス（由利本荘市）
- (5) 受験上の注意事項

- ① 当日は、受験票を必ず持参してください。
- ② 当日に受験票を忘れた者は、速やかに係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。
また、受験票は、入学手続の際に必要なため、試験後も大切に保管してください。
- ③ 受験者は、面接開始30分前までに指定された面接控室に入室し着席してください。
- ④ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取扱います。
- ⑤ 携帯電話等の電子機器類は、事前に必ず電源を切ってください。また、これらは時計として使用できません。
- ⑥ その他必要な事項が生じた場合には、別途通知します。

6 合格者発表

- (1) 発表期日 令和3年11月1日（月） 午後1時予定
- (2) 発表方法 本学ホームページに合格者受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

Ⅲ 共同サステナブル工学専攻

(一般選抜、社会人特別選抜、外国人・帰国子女特別選抜、学部3年次学生を対象とする特別選抜)^{*}

* 3月実施試験のみ

1 募集する専攻及び募集人員

入学定員及び 選抜区分	入学 定員	募 集 人 員	
		令和3年10月 実施試験	令和4年3月 実施試験
専攻名		推 薦 特 別 選 抜 一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜	一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜 学 部 3 年 次 学 生 を 対 象 と す る 特 別 選 抜
共同サステナブル工学専攻 ・ エレクトロモビリティコース ・ 社会環境システムコース	8	8名程度	若干名
計	8		

「学部3年次学生を対象とする特別選抜」は、意欲あふれる優秀な学部学生に対して早期に大学院教育を受ける機会を提供するために実施するものです。

本特別選抜では、特に博士後期課程までを視野に入れ高度技術研究者を目指す、きわめて優秀な学生を選抜することを目標としています。

なお、「学部3年次学生を対象とする特別選抜」によって本研究科博士前期課程に入学した者の学部学生としての学籍上の身分は、早期卒業を認める大学を除き、本学等ほとんどの大学では退学になります。したがって、各種国家試験等の受験資格で大学の学部卒業が要件になっているものについては、受験資格がないことになるので十分留意してください。

2 出願資格

(1) 出願資格

【一般選抜】

以下の出願資格①～⑬のいずれかに該当する者が出願できます。

【社会人特別選抜】

2年以上の社会的経験を有する者で、以下の出願資格①～⑦及び⑬のいずれかに該当する者が出願できます。

【外国人・帰国子女特別選抜】

外国人留学生及び外国の大学において学校教育を受けた者で、以下の出願資格①～⑦及び⑬のいずれかに該当する者が出願できます。

【学部3年次学生を対象とする特別選抜】

以下の出願資格⑧～⑫のいずれかに該当する者は出願できます。

〈出願資格〉

- ① 大学を卒業した者及び令和4年3月までに卒業見込みの者
 - ② 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
 - ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
 - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
 - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
 - ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
 - ⑦ 文部科学大臣の指定した者〔旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校を卒業した者等〕
 - ⑧ 令和4年3月末日に大学の在学期間が3年（休学期間を除く）以上となる者で、学部における所定単位（注1）を各学科の最上位の成績で修めた者のうち、入学資格審査による認定を受けた者（注2）
 - ⑨ 令和4年3月末日に外国において学校教育における15年の課程を修了する見込みの者で、学部における所定単位（注1）を最上位の成績で修めた者のうち、入学資格審査による認定を受けた者（注2）
 - ⑩ 令和4年3月末日に、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了する見込みの者で、学部における所定単位を最上位の成績で修めた者のうち、入学資格審査による認定を受けた者（注2）
 - ⑪ 令和4年3月末日に、我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされる者に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了する見込みの者で、学部における所定単位を最上位の成績で修めた者のうち、入学資格審査による認定を受けた者（注2）
 - ⑫ ⑧～⑪に該当し大学院に入学した者であって、本大学院が大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
 - ⑬ その他大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、令和4年4月1日までに22歳に達する者
- （注1）「学部における所定単位」とは、当該大学の卒業に必要な最低修得単位数から4年次以降において修得することとされている科目の単位を除いた単位をいいます。
- （注2）令和4年3月に大学卒業見込みの者は出願できません。出願資格について不明な場合には、本荘キャンパス アドミッションチームにお問い合わせください。

(2) 入学資格審査

- ① 出願資格⑧～⑬により出願を希望する者については、入学資格審査を行います。入学資格審査を受けるにあたっては、次の期間内に申請が必要となりますので、下記ii)において○印を付した書類を後記「出願先」まで郵送してください。入学資格審査申請期間最終日の午後5時必着とし、「入学資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。

i) 入学資格審査申請期間

令和3年10月実施試験	令和3年8月16日(月)～8月20日(金)
令和4年3月実施試験	令和3年11月29日(月)～12月3日(金)

ii) 入学資格審査に必要な書類

書類名	摘要	出願資格	
		⑧～⑫に該当する者	⑬に該当する者
入学資格審査申請書	様式は本学ホームページからダウンロードし、必要事項を記入してください。	○	○
推薦書	様式は本学ホームページからダウンロードし、在籍している大学の学部長等が記入したものを、厳封し提出してください。	○	—
在学証明書	在籍している大学の学長等が作成し、厳封したものを提出してください。本学システム科学技術学部在籍者は提出不要です。	○*	—
成績証明書	在籍している大学の学長等が作成し、厳封したものを提出してください。	○	—
在籍大学学部・学科の履修要覧等	本学システム科学技術学部在籍者は提出不要です。写しも可。	○	—
履歴書	様式は任意	—	○
研究業績書	様式は任意とし、論文要旨、論文発表業績または研究業績のいずれかを提出してください。	—	○
返送用封筒(入学資格審査結果送付用)	長形3号の封筒に、郵便番号、住所及び氏名を明記し、84円分の切手を貼付してください。	○	○

*⑫に該当する者は、在籍期間証明書を提出してください。

- ② 入学資格審査の結果は、次の期日までに本人あてに通知します。

令和3年10月実施試験	令和3年9月6日(月)
令和4年3月実施試験	令和4年1月24日(月)

3 障害等のある入学志願者の事前相談について

本大学院に入学を志願する者で、障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）や疾病・負傷等により、受験上及び修学上において特別な配慮を希望する場合は、以下の期限までに後記「出願先」へ事前相談を行うようにしてください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者に連絡をとることもあります。また、希望する配慮を必ずしも実施できるとは限りません。期限後に不慮の事故等により、受験上及び修学上の配慮が必要となった場合には、速やかに連絡してください。

令和3年10月実施試験	令和3年8月20日（金）
令和4年3月実施試験	令和3年12月3日（金）

4 出願期間及び出願方法等

(1) 出願期間

令和3年10月実施試験	令和3年9月13日（月）～9月17日（金）
令和4年3月実施試験	令和4年1月31日（月）～2月4日（金）

(2) 出願方法

- ① 本選抜はインターネット出願となります。本学ホームページからインターネット出願ページに進み、出願手続を行ってください。
- ② 本選抜には郵送もしくは持参による提出が必要な書類があり、その提出までが出願手続となります。書類の提出は出願期間最終日の午後5時必着とします。なお、持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとします。
- ③ 指導教員等が変更になる場合がありますので、出願前に必ず志望指導教員と連絡をとるようにしてください。

(3) 入学検定料

30,000円

インターネット出願ページの指示に従い、出願期間内に納付してください。

(4) 出 願 先

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

秋田県立大学 アドミッションチーム

T E L 0184-27-2100 F A X 0184-27-2180

(5) 出願書類

各選抜区分欄に○印を付した書類を原則としてすべて提出してください。△印を付した書類は該当者のみ提出してください。「-」を付した書類は提出不要です。

番号	書類名	摘要	選抜区分			
			一般選抜	社会人特別選抜	外国人・帰国子女特別選抜	学部3年次学生を対象とする特別選抜
1	入学志願票	インターネット出願ページから入学志願票を印刷して送付してください。	○	○	○	○
2	志望理由書	本大学院所定の用紙に志望理由を記入し提出してください。	○	○	○	○
3	業績レポート	一般選抜または外国人・帰国子女特別選抜に出願する者で出願資格③に該当する者、または社会人特別選抜に出願する者は本大学院所定の用紙に業績を記入してください。	△	○	△	-
4	卒業（見込）証明書または学位授与（申請受理）証明書	①出身大学の学長等、または大学改革支援・学位授与機構が発行する証明書を提出してください。 ②大学改革支援・学位授与機構に学位授与申請中の場合は、同機構が交付する学位授与申請受理証明書を提出してください。	○*1	○	○	-
5	成績証明書	出身大学の学長等が発行する成績証明書を厳封して提出してください。	○	○	○	-*2
6	TOEIC Official Score Certificate (公式認定証)	令和元年8月20日以降に受験した Official Score Certificate (公式認定証) 原本を提出してください。ただし、本学で実施した TOEIC-IP を受験した場合は、当該スコアレポート（個人成績表）原本の提出をこれに代えることができます。今年度実施の入試に限り、TOEIC の成績に代えて学部時に単位を修得した英語の授業科目の成績で判定します。	⊕	-	-	⊕

(次ページへ続く)

番号	書類名	摘要	選抜区分			
			一般選抜	社会人特別選抜	外国人・帰国子女特別選抜	学部3年次学生を対象とする特別選抜
7	住民票の写しまたはパスポートの写し	日本に住所を有する外国籍の者は、住民票の写し（出願前3か月以内に発行したもの）を提出してください。受験のために来日する外国籍の者は、パスポートの写しを提出してください。	△	△	△	△
8	日本語能力に関する証明書 注) システム科学技術研究科の授業は、原則として日本語で行われます。	日本国籍を有しない者は、日本国際教育支援協会の実施する日本語能力試験の「認定書の写し」または「認定結果及び成績に関する証明書」若しくは国内外における日本語教室の修了書・成績書等を提出してください。	△	△	△	△
9	受験承諾書	企業等に在籍のまま本大学院に入学を希望する者は、企業等の所属長が作成した受験承諾書を提出してください（様式は任意とします）。	△	△	△	—
10	受験許可書	他の大学院に在学中の者は、当該大学院の長等が発行した受験許可書を提出してください（様式は任意とします）。	△	△	△	—
11	安全保障輸出管理に関する誓約書	外国籍の方、または、日本国籍を有するが非居住者に該当する方は、本学ホームページに掲載の「安全保障輸出管理に関する誓約書」の内容を確認のうえ、必要事項を記入・押印、またはサインをし、提出してください。 URL: https://www.akita-pu.ac.jp/nyushi/joho/joho-daigakuin/	△	△	△	△
12	その他本学が指定する書類	入学資格審査の結果、必要と認められる書類について連絡があった場合提出してください。	△	△	△	△

【注】各種証明書等の中で提出が困難な書類の取扱いについては、出願までに前記「出願先」までお問い合わせください。

- * 1 出願資格⑧～⑬に該当する者は提出不要です。
- * 2 入学資格審査の際に提出されているため、出願時は提出不要です。

(6) 出願上の注意事項

- ① 出願にあたっては、24ページの「秋田県立大学大学院システム科学技術研究科の案内」を参照の上、必ず志望する研究分野の指導教員に問い合わせてください。問い合わせの際は、前記「出願先」に連絡してください。

ア 希望する主指導教員との連絡について

出願（入学資格審査申請を含む）にあたっては、希望する主指導教員へ事前に連絡し、研究内容の確認を必ず行ってください。また、合格した場合は、希望する主指導教員へ連絡し、今後の研究計画等の打合せを必ず行ってください。

イ 出願大学、受験大学、本籍を置く大学について

秋田県立大学に所属する専任教員を主指導教員に希望する場合は、秋田県立大学へ出願し、秋田県立大学において入学者選抜試験を受験することとなります。

この場合、入学後に本籍を置く大学は「秋田県立大学」となり、授業料等の納付、奨学金の申請等に関して、秋田県立大学の学生として取り扱います。また、秋田県立大学と秋田大学を併願することはできません。

- ② 出願書類に、次のような不備のあるものは受理しないことがあるので、十分確認してください。不備のある出願書類は、出願期間経過後に返送します。

ア 出願書類がそろっていないもの

イ 記入漏れ、誤記のあるもの

- ③ 出願書類は、インターネット出願ページの注意事項を参照してください。

- ④ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号及びメールアドレスに変更があった場合は、前記「出願先」まで連絡してください。

- ⑤ 受験票は、出願書類受理後にインターネット出願ページからダウンロードできるようになりますので印刷してください。

- ⑥ 外国から本学大学院受験のために来日する者は、日本国への入国に必要な書類の発給に時間を要する場合がありますので、発給元に所要時間、必要書類を確認するなど受験に間に合うように十分注意してください。

- ⑦ 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「秋田県立大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受け入れに際し厳格な審査を行っています。規制事項に該当する場合は、希望する教育や研究が受けられない場合がありますので、注意してください。

- ⑧ 一度受理した出願書類は返却しません。

(7) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額 ※
(ア) 入学検定料を納付したが、出願しなかった場合	30,000円
(イ) 入学検定料を誤って二重に納付した場合	30,000円

※実際の返還額は振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、次の送付先へ請求してください。

送付先：〒015-0055

秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

秋田県立大学 アドミッションチーム

送付期限：令和4年2月25日（金）必着

注）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

5 選抜方法等

(1) 試験期日

令和3年10月実施試験	令和3年10月23日（土）
令和4年3月実施試験	令和4年3月2日（水）

(2) 選抜方法

① 選抜方法は次のとおりです。

選 抜 区 分	選 抜 方 法
一 般 選 抜	書類審査、学力検査、面接を総合して行います。
社 会 人 特 別 選 抜	書類審査、面接を総合して行います。
外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜	書類審査、学力検査、面接を総合して行います。
学部3年次学生を対象とする特別選抜	書類審査、学力検査、面接を総合して行います。

② 学力検査の出題分野等

学力検査は、「機械工学分野」、「知能メカトロニクス分野」、「情報工学分野」、「建築学分野」及び「経営システム工学分野」の5つの分野の中から、希望する主指導教員が指定する分野の方式で実施します。詳細は、別表1（17ページ）並びに別表2-1（18ページ）及び別表2-2（18ページ）を参照してください。

別表 1 学力検査科目等一覧表

共同サステナブル工学専攻					
専攻分野	機械工学分野	知能メカトロニクス分野	情報工学分野	建築学分野	経営システム工学分野
一般選抜	TOEIC(公開テスト)のスコアを利用 今年度実施の入試に限り、TOEICの成績に代えて学部時に単位を修得した英語の授業科目の成績で判定します。	TOEIC(公開テスト)のスコアを利用 今年度実施の入試に限り、TOEICの成績に代えて学部時に単位を修得した英語の授業科目の成績で判定します。	TOEIC(公開テスト)のスコアを利用 今年度実施の入試に限り、TOEICの成績に代えて学部時に単位を修得した英語の授業科目の成績で判定します。	TOEIC(公開テスト)のスコアを利用 今年度実施の入試に限り、TOEICの成績に代えて学部時に単位を修得した英語の授業科目の成績で判定します。	TOEIC(公開テスト)のスコアを利用 今年度実施の入試に限り、TOEICの成績に代えて学部時に単位を修得した英語の授業科目の成績で判定します。
	学部3年次学生を対象とする特別選抜	全4問(基礎科目2問を含む計4問を選択) ○基礎科目 (応用数学 ^(注2) 、力学、材料力学、機械力学、流体力学、熱力学) ○応用科目 (機械材料、機械設計、生産工学)	全4問(基礎科目2問・応用科目2問の計4問を選択) ○基礎科目 (数学 ^(注3) 、材料力学、機械力学、電気回路学、電磁気学) ○応用科目 (制御工学、ロボット工学、機械学習、電子デバイス・電子物性工学、電子回路学、通信工学)	全4問(基礎科目2問・応用科目2問の計4問を選択) ○基礎科目 (数学 ^(注3) 、情報工学、プログラミング、ディジタル回路) ○応用科目 (情報ネットワークシステム、人工知能と機械学習、メディア信号処理、数値解析とアルゴリズム)	全3問 ○別表2-1に示す各研究分野による専門科目(全4問)から3問を選択。第1、第2志望研究分野の出題は必ず選択すること
外国人・帰国子女特別選抜	全4問(基礎科目2問を含む計4問を選択) ○基礎科目 (一般選抜と同じ) ○応用科目 (一般選抜と同じ)	全4問(基礎科目2問・応用科目2問の計4問を選択) ○基礎科目 (一般選抜と同じ) ○応用科目 (一般選抜と同じ)	全4問(基礎科目2問・応用科目2問の計4問を選択) ○基礎科目 (一般選抜と同じ) ○応用科目 (一般選抜と同じ)	全3問 ○別表2-1に示す各研究分野による専門科目(全4問)から3問を選択。第1、第2志望研究分野の出題は必ず選択すること	全3問 ○小論文(必答) ○別表2-2に示す専門科目(全11科目)から2科目を選択

〔注1〕 選択科目について、出願時に選択してください。選択した科目は変更できません。

〔注2〕 応用数学の出題範囲は、複素解析、常微分方程式、フーリエ解析、ラプラス変換、ベクトル解析です。

〔注3〕 数学の出題範囲は、解析学、線形代数です。

別表 2 - 1 建築学分野の専門科目出題内容

研究分野	専門科目・出題内容
構造学	○構造学 下記の内容またはそれらを含む総合的な事項 ・構造力学 ・構造設計 ・鉄筋コンクリート構造、鋼構造
材料学	○材料学 下記の内容またはそれらを含む総合的な事項 ・建築構造材料および仕上げ材料 ・建築の構法および一般構造 ・建築材料の生産と環境への配慮
環境学	○環境学 下記の内容またはそれらを含む総合的な事項 ・物理環境要素（熱、空気、湿気、音、光）の性質と人体への影響 ・物理環境要素の建築物や建築設備による制御 ・寒地建築の環境設計手法 ・環境共生建築の設計手法
計画学	○計画学 下記の内容またはそれらを含む総合的な事項 ・建築計画、建築設計、建築環境 ・建築史、建築空間史 ・都市計画、都市環境、環境評価 ・都市安全

別表 2 - 2 経営システム工学分野の専門科目等

専 門 科 目
数学 ^(注) 、経済学、経営戦略、会計学、経営情報システム、データサイエンス、数理統計学、オペレーションズ・リサーチ、生産管理工学、環境工学、分析化学

〔注〕 数学の出題範囲は解析学、線形代数です。

(3) 配 点 (令和3年10月実施試験、令和4年3月実施試験共通)

選 抜 区 分	学 力 検 査		面 接	合 計
	英 語	専 門		
一 般 選 抜	1 0 0	3 0 0	3 0 0	7 0 0
社 会 人 特 別 選 抜	—	—	7 0 0	7 0 0
外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜	—	4 0 0	3 0 0	7 0 0
学 部 3 年 次 学 生 を 対 象 と す る 特 別 選 抜	1 0 0	3 0 0	3 0 0	7 0 0

(4) 試験時間割

【令和3年10月実施試験】

専 攻 選 抜 区 分	令 和 3 年 10 月 23 日 (土)
	共 同 サ ス テ ナ ブ ル 工 学 専 攻
一 般 選 抜	学 力 検 査 (専 門) 午前 9 時 3 0 分 ~ 午前 1 1 時 3 0 分 面 接 午後 1 時 ~
社 会 人 特 別 選 抜	面 接 午後 1 時 ~
外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜	学 力 検 査 (専 門) 午前 9 時 3 0 分 ~ 午前 1 1 時 3 0 分 面 接 午後 1 時 ~

【令和4年3月実施試験】

専 攻 選 抜 区 分	令 和 4 年 3 月 2 日 (水)
	共 同 サ ス テ ナ ブ ル 工 学 専 攻
一 般 選 抜 学 部 3 年 次 学 生 を 対 象 と す る 特 別 選 抜	学 力 検 査 (専 門) 午前 9 時 3 0 分 ~ 午前 1 1 時 3 0 分 面 接 午後 1 時 ~
社 会 人 特 別 選 抜	面 接 午後 1 時 ~
外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜	学 力 検 査 (専 門) 午前 9 時 3 0 分 ~ 午前 1 1 時 3 0 分 面 接 午後 1 時 ~

(5) 試験会場

本荘キャンパス（由利本荘市）

(6) 受験上の注意事項

- ① 当日は、受験票を必ず持参してください。
- ② 当日に受験票を忘れた者は、速やかに係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は、入学手続の際に必要なため、試験後も大切に保管してください。
- ③ 受験者は、試験開始30分前までに、指定された試験室または面接控室に入室し、着席してください。
- ④ 学力検査開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、検査時間の延長は行いません。また、原則として、途中退室は認めません。
- ⑤ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
- ⑥ 一般選抜及び外国人・帰国子女特別選抜で課す学力検査、面接のいずれかを受験しなかった者並びに社会人特別選抜で面接を受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑦ 携帯電話等の電子機器類は、事前に必ず電源を切ってください。また、これらは時計として使用できません。
- ⑧ その他必要な事項が生じた場合には、別途通知します。
- ⑨ 学部3年次学生を対象とする特別選抜に志願した者は、3年次修了時までの単位修得状況等を確認する必要がありますので、成績証明書及び在学証明書を令和4年2月25日（金）午後5時までに前記出願先に提出してください。

6 合格者発表

(1) 発表期日

令和3年10月実施試験	令和3年11月1日（月）	午後1時予定
令和4年3月実施試験	令和4年3月7日（月）	午後1時予定

- (2) 発表方法 本学ホームページに合格者受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

IV 共通事項

1 入学手続、初年度納付金等

(1) 入学手続

① 入学手続期限

令和3年10月実施試験	令和3年11月9日(火)午後5時必着
令和4年3月実施試験	令和4年3月15日(火)午後5時必着

② 入学手続方法 入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

(2) 初年度納付金等

① 入 学 料

ア 金 額	秋田県内の者	282,000円
	上記以外の者	423,000円

(注) 「秋田県内の者」とは、次のいずれかに該当する者をいいます。

- 一 入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 二 配偶者または1親等の親族が入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 三 前2号に掲げる者のほか、これらの者に準ずる者として理事長が認めた者

イ 納付方法 合格通知書に同封する入学手続書類に従い、入学手続の際に納付してください。なお、本学が認める特別な理由がある場合を除き、納付した入学金は返還しません。

② 授 業 料

ア 金 額	年額	535,800円
-------	----	----------

イ 納付方法 前期(納付期限4月30日)、後期(同10月31日)の2回に分けて納付してください。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) その他

① 授業料の減免

家庭の経済的事情や不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生に対する授業料の減免制度があります。

② 奨 学 金

ア 独立行政法人日本学生支援機構が貸与する奨学金についての詳細は、独立行政法人日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

イ この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

③ 特待生制度について

本学には、成績優秀者に対して奨学金を給付する特待生制度があります。

④ 長期履修学生制度について

長期履修学生制度とは、学生が職業を有していたり、育児・介護に従事したりしている等の個人の事情に応じて、在学年限（博士前期課程4年、博士後期課程6年）の範囲内で、標準修業年限（博士前期課程2年、博士後期課程3年）を超えて計画的に教育課程を履修・修了することを認め、学位を取得できる制度です。

以下に該当する方が対象となります。

- ア 職業を有している者
- イ 育児・介護に従事している者
- ウ その他長期履修が必要となる相当の理由がある者

修業年限分の授業料に相当する額を、長期履修期間に応じて分割納付することとなります。申請方法については、各研究科入学予定者にご案内しています。

⑤ 後援会について

後援会加入学生を対象として、学校教育活動中及び通学中を補償する学生保険（「学生教育研究災害傷害保険」・「学研災付帯賠償責任保険」）に一括加入しているほか、大学主催の各種就職対策講座やインターンシップへの助成、様々な資格取得への助成等を行っています。

後援会費は2年間で20,000円です。入会を希望する方は入学手続の際にお申し込みください。

2 入学試験成績の開示

当該入学者選抜試験に係る個人情報の開示は、本人に限って、次により口頭で請求し、その場で閲覧することができます。ただし、「公立大学法人秋田県立大学入試情報公開規程」に基づき、推薦特別選抜は不合格者のみの開示となり、一般選抜、社会人特別選抜、外国人・帰国子女特別選抜及び学部3年次学生を対象とする特別選抜は合格者が10名に満たない専攻については不合格者のみの開示となるので注意してください。

① 請求の方法

本人が、開示場所に出向いて請求してください。郵送による請求はできません。
また、請求者が本人であることを確認するため、必ず受験票を持参してください。

② 開示する情報

得点

③ 開示する期間

合格者発表の日から2週間（土・日・祝日を除く）※受付時間：午前9時～午後5時

④ 開示場所及び問い合わせ先

秋田県立大学 アドミッションチーム

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

T E L 0184-27-2100 F A X 0184-27-2180

3 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「公立大学法人秋田県立大学個人情報保護規程」に基づいて取扱います。

① 出願にあたって知り得た個人情報は、次の業務を行うために利用します。

- ・入学者選抜
- ・合格者発表
- ・入学手続
- ・次年度以降の学生募集

② 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。

- ③ 出願にあたって知り得た個人情報は、入学者についてのみ次の業務を行うために利用します。
- ・教務関係（学籍、修学指導等）
 - ・学生支援関係（奨学金申請等）
 - ・授業料徴収
- ④ 本学に出願した者は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

キャンパス案内

【本荘キャンパス（システム科学技術学部・研究科）】

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

TEL.0184-27-2100 FAX.0184-27-2180

- ・秋田空港から車で約50分
- ・秋田駅から羽後本荘駅まで JR で約45分
- ・羽後本荘駅から車で約10分
- ・羽後本荘駅から市内線（東回り）、本荘伏見線、東由利線バスを利用してバス停「県立大学入口」まで約5分
- ・バス停「県立大学入口」から徒歩15分

秋田県立大学大学院システム科学技術研究科の案内

1 博士前期課程の概要

博士前期課程「総合システム工学専攻」・「共同サステナブル工学専攻」は、次のコース・研究分野で構成されています。

総合システム工学専攻

①機械工学コース

材料構造工学、設計生産工学、熱・流体工学

②知能メカトロニクスコース

知能化機械システム、電気電子システム、制御システム

③情報工学コース

基礎情報工学、人間支援情報工学

④建築学コース

構造学、材料学、環境学、計画学

⑤経営システム工学コース

戦略プランニング、数理アナリシス、持続可能マネジメント

共同サステナブル工学専攻

①エレクトロモビリティコース

②社会環境システムコース

2 博士後期課程の概要

博士後期課程「総合システム科学専攻」は次の3つの系からなり、それぞれ次の研究分野から構成されています。

総合システム科学専攻

①機構・デバイス系

材料構造工学、設計生産工学、電気電子システム、構造学、材料学、持続可能マネジメントの一部

②情報・知能系

熱・流体工学、基礎情報工学、人間支援情報工学、構造学、材料学、環境学、計画学、数理アナリシス、戦略プランニング

③社会・環境系

知能化機械システム、制御システム、計画学、環境学、持続可能マネジメントの一部、戦略プランニングの一部

3 指導教員と研究テーマ

指導教員の研究テーマは以下のURLから見るすることができます。

研究テーマ一覧

<https://www.akita-pu.ac.jp/gakubu/grad-sys/6803>

令和3年度中に行う入学者選抜における新型コロナウイルス感染症に関する方針

令和3年4月15日
秋田県立大学

1. 感染症の疑いのある者の受験について

次の①、②または③のいずれかに該当する者は受験することができません。

- ① 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者
- ② 試験の前2週間以内に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者で、発熱や咳等の症状がある者
- ③ 発熱・咳等の症状があり、試験当日の検温で37.5度以上の熱がある者

2. 試験当日に欠席となった場合の特別対応について

次の①または②に該当する者には以下の特別対応を行います。

- ① 上記1の①または②に該当し、試験当日の午前11時までに募集要項に記載の出願先（以下「出願先」という。）まで電話連絡をした上で、特別対応申請書を試験日から3日以内に提出先へ提出した者
- ② 上記1の③に該当し、その旨を試験当日の午前11時までに出願先に電話連絡をした者もしくは試験会場での検温で37.5度以上の熱があることが判明した者で、特別対応申請書を試験日から3日以内に提出先へ提出した者

選抜区分		特別対応
総合型選抜		後日追試験を実施します。追試験に関する詳細は対象者に通知します。
選学校推薦型	推薦選抜Ⅰ・Ⅱ	後日追試験を実施します。追試験に関する詳細は対象者に通知します。
	推薦選抜Ⅲ	大学入学共通テスト、調査書、志望理由書の内容を総合的に評価し、合否判定を行います。
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト、調査書の内容を総合的に評価し、合否判定を行います。
	後期日程	大学入学共通テスト、調査書の内容を総合的に評価し、合否判定を行います。
大学院のすべての選抜区分		後日追試験を実施します。追試験に関する詳細は対象者に通知します。
編入学(推薦選抜・一般選抜)		後日追試験を実施します。追試験に関する詳細は対象者に通知します。

※ 期限までに書類の提出が間に合わない場合は、事前に出願先へ電話連絡をしてください。

提出先（郵送、FAXまたはメールで提出してください）

郵送：〒010-0195 秋田市下新城野字街道端西 241-438 秋田県立大学アドミッションチーム
FAX：018-872-1670 メール：nyushi-apu@akita-pu.ac.jp

3. その他

新型コロナウイルス感染症の今後の状況によっては、本方針が変更となる場合があります。変更した場合は本学ホームページにてお知らせしますのでご確認ください。

また、その他不明な点についても出願先までお問い合わせください。

出願、受験、その他の問い合わせ先

システム科学技術研究科

〒015-0055

秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

秋田県立大学 アドミッションチーム

TEL 0184-27-2100

FAX 0184-27-2180

◎ホームページアドレス

<https://www.akita-pu.ac.jp/>

